

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)	良く なっている やや良く なっている	乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・エコカー補助金は終了したが、店の売上は伸びている。
		百貨店(売場主任)	単価の動き	・8月末から夏物は売れておらず、秋冬物はまだ早い感じである。しかし、販売量は少ないが秋の新作ブランドの高額商品が入荷し、目新しさもあって値段の高い靴が売れており、日割にすると売上はある。
		スーパー(店員)	販売量の動き	・岐阜清流国体開催に向けて、人の流れや飲食店向け客による売上が増えている。
		スーパー(総務担当)	販売量の動き	・お彼岸用の仏花、和菓子の売行きが、前年以上に良い。
		コンビニ(店長)	来客数の動き	・来客数と売上が比例して増えている。これは、9月に入っても残暑が厳しく暑い日が続いているために、飲料水が売れているためである。
		家電量販店(店員)	販売量の動き	・販売金額は、前年同月を上回るようになってきている。ソーラー関連やキッチン周りの住関連商品等の販売が良く、テレビ販売の不振を多少なりとも補えるようになってきている。
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・最後のエコカー補助金の駆け込み需要があり、今月は販売台数が増加している。
		乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・客の動きを見ると、車の購入意欲が強くなっている。例年8月よりも9月のほうが良いが、それを差し引いても、今年の9月は例年より良い。傾向としては、全体的に動いてきている。
		観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・8月以降は暑い日が続いたことと、新東名高速道路の開通により、間際での予約がかなり入っている。8月は前年同月比で10%以上も良かったが、9、10月も同じ傾向である。新東名高速道路の開通により、こちらの方面に客足が向いている。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・光回線サービスの契約が、引き続き増加傾向にある。
美顔美容室(経営者)	販売量の動き	・ホームケア商品の買上が、今月は多く好調である。		
変わらない		商店街(代表者)	販売量の動き	・この数か月間は、客単価がとにかく低い。来客数はあまり変わらないが、単価が低い商品に偏っているため、売上は伸びておらず包装費などもかさんでいる。
		商店街(代表者)	単価の動き	・来客数は変わらないが、客単価は低く、販売量も若干落ちている。
		商店街(代表者)	単価の動き	・同業者からも、価格競争が厳しく利益がなかなか出ないとの声が聞かれる。
		一般小売店[高級精肉](企画担当)	販売量の動き	・消費税率が上がる前の小康状態にあり、しばらくはこのままいきそうである。
		一般小売店[薬局](経営者)	来客数の動き	・売上、来客数共に、かなり落ちている。売上が取れる日と暇な日の差が極端である。これは、今まではあまり見られなかった状態である。本来、薬業界は1日の売上にあまりばらつきがない業種であるが、今年はひどい。
		一般小売店[生花](経営者)	単価の動き	・ギフトの単価が低下している。今までは少なかった1500~2000円の商品の注文が増えており、税込みでという注文も結構ある。敬老の日のお祝いも、やはり単価は落ちている。
		一般小売店[酒類](経営者)	来客数の動き	・卸先の飲食店では、月曜日から木曜日までの来客数が増えていない。
		百貨店(売場主任)	お客様の様子	・残暑が続いていることもあり、秋冬物の動きが悪い。購買意欲が見られない。
		百貨店(経理担当)	お客様の様子	・気温が低下してきたこともあり、衣料品を中心に前年同月の売上は確保している。ただし、まとめ買いは少なく、勢いは感じられない。
		百貨店(販売促進担当)	販売量の動き	・来客数が増えて、購買意欲の高まりもやや感じられるが、客単価の低下によって売上は伸び悩んでいる。
		百貨店(販売担当)	販売量の動き	・新作、秋物の動きが好調で、高額品、特價品の売行きは良いが、中間価格帯の商品の動きが悪い。大きく二極化している。
		百貨店(経営企画担当)	お客様の様子	・宝飾品や時計といった高額品は引き続き好調であるものの、残暑が厳しいためか衣料品全般が非常に苦戦している。高額品への需要については、いつまで続くか読めない部分もあり、懸念される。

スーパー（経営者）	お客様の様子	・ここ数か月間は悪い日がずっと続いている。これ以上悪くなりようがないほど悪い。
スーパー（店長）	単価の動き	・単品単価の落ち込みと共に、客単価の落ち込みが進んでいる。
スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価は横ばいであるが、来客数が前年同月を割り込んでいる。競合店舗でも常に低価格を打ち出すようになり、客の奪い合いが続いている。
スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数の割には、売上の減少が目立つ。客1人当たりの買上点数の減少が、大きな要因である。
スーパー（店員）	販売量の動き	・全体的に販売数量が少なく、売上に結び付いていない。
スーパー（営業企画）	それ以外	・来客数に若干の伸びはみられるが、単価が落ち込んでいるため、結果的にはあまり変化がない。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・売上が前年をクリアできない状態が継続しており、厳しい状態である。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・無駄な物は買わない、必要な物だけを買うという傾向が、ずっと続いている。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・秋のイベントに対して、月の月上旬は暑さで来店してもらえなかったが、中旬以降は来客数、販売量共に前年同月と変わらない。昨今は先買いをしないので、早く涼しくなりそのまま寒くなってほしい。
衣料品専門店（経理担当）	販売量の動き	・販売量の動きに加えて来客数の動きも注意して見ているが、最近は特に、好不調の乖離が一段と顕著になってきている。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・テレビやレコーダーの売上が大幅に落ちているが、代わりに売れている商品がない。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・車検整備などを低料金で引き受けるガソリンスタンド等への客の流れが止まらない。
乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・エコカー補助金が終わり、受注は伸びていない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー補助金の終了が予想していたよりも遅くなったように、販売量に若干の鈍化が見られた。9月半ばまではエコカー補助金の駆け込み需要で好調に推移したが、後半からは急に販売量が少なくなり、目標割れとなっている。ただし、サービス工場への入庫は順調であり、目標を上回っている。
乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・景気は若干回復しており、エコカー補助金の影響もある。
その他専門店【雑貨】（店員）	来客数の動き	・客はセール期間や価格等をよく心得て、見極めている。価格によって、来客数が異なっている。
その他小売【ショッピングセンター】（営業担当）	お客様の様子	・客の買い回り状況を見ても、大きな変化はうかがえない。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・前年同月比で見ると売上は増加しているが、これは前年が稲わらの放射線汚染問題の影響で、大幅な減収であったことの反動である。売上の基調としては、今春以降、踊り場的な横ばい状態を続けている。
スナック（経営者）	来客数の動き	・繁華街の人出は少なく、相変わらず閑散とした状態が続いている。客の財布のひもは固いままであり、飲食代には流れにくい。経済が良くなる要素がない以上、今の悪い状態は続く。
その他飲食【仕出し】（経営者）	販売量の動き	・政治的不安定化の影響により、消費者の購買意欲は低下している。
旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・予約動向は、ますます直近型になってきている。本来ならば正月ごろの予約が多い時期であるが、まだまだこれからである。
タクシー運転手	お客様の様子	・結婚式等の客も出始めているが、平日夜に関しては、金曜日以外は引き続き悪い。
タクシー運転手	来客数の動き	・毎年お盆過ぎから寒くなるまでの時期は、繁華街の飲食店が暇になる時期である。前年の同時期と比べると、今年も同じような状況である。
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新型スマートフォンの影響と思われる新規加入が若干見られるものの、全体的には新規加入は低調である。解約数は微減である。
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・3連休の中日には力強い入込があったものの、その他の土日、平日は少し弱い感じである。祝日が土曜日と重なったことも影響している。

	ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・今月は天候にも恵まれ、来場者数は天候の悪かった前年同月を大幅に上回り、予算目標もクリアしそうである。今年は暑い低地のゴルフ場、涼しい高地のゴルフ場共に、万遍なく客が入っている。ここ4か月間の来場者数は、予算目標をクリアしている。ただし、客単価が低下しており、売上が予算目標を達成することは難しい。そのため、景気が良くなっているとは言い切れない。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・客の話を聞いていると、連休等でレジャーに出掛ける人もいれば、節約してどこにも出掛けない人もいる。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注量は、相変わらず横ばいである。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・消費税の関係で動きはあったが、それを理由に契約するまでには至っていない。消費税の話題は出るが、元々検討していた人が契約しているだけであり、大幅な契約増には結びついていない。
	住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・下請業者の仕事量が、他社でも増えてきている。
	その他住宅〔住宅管理〕（従業員）	お客様の様子	・客の来店回数は増えているが、契約数は一向に伸びていない。検討はしているが、結論はなかなか出ないという状態が続いている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	単価の動き	・客単価がすごく低くなっている。以前から上がる傾向はなかったが、客単価の悪さが顕著に表れている。
	一般小売店〔自然食品〕（経営者）	販売量の動き	・ここ数か月間、販売量は前年割れを続けており、単価も低価格に移ってきている。
	一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・客単価が低い。
	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・贈答用品は、家庭や企業にとっては交際費である。給料や所得が増えないと、交際費を増やすことはできない。物価は下がっているが、生活用品を買うことは少ない。贈答用品店にとっては、付き合いの幅が減り、交際費も減る。企業は、広告宣伝費や交際費を減らす。その一方で必要な物にはお金を使う傾向があるため、この業界ではマイナス傾向が続いている。
	一般小売店〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・今月は残暑が厳しく、前月以上に来客数は減少しており、売上は伸びていない。前年同月を5%ほど下回る見通しである。
	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・観光客の行動拠点である駐車料金が今春から有料化されたが、変則的な料金体系であるため地元客が反発しており、来客数も減少している。
	百貨店（販売担当）	来客数の動き	・来客数と購買単価は良くなっているが、購買客数は減少しており、客の購買意欲は上昇していない。何かを探して来店しても、購入には至らない。その大きな要素として、政治、経済、技術、社会が不安定なことがある。よほど必要に迫られるか、今までになかった物でない限り、購入に至らない、非常に厳しい環境にある。
	百貨店（販売担当）	お客様の様子	・領土問題により、せっかく定着しつつあった外国人客が減少している。当店は元々外国人客が占める割合は高くないが、そうでない店舗ではダメージがありそうである。
	百貨店（営業企画・販売促進）	来客数の動き	・大型新商業施設の開店など、商圏内で環境変化があったにもかかわらず、来街者数の増加は一時的なもので終わっている。また、来街者数の増加が売上増加につながっていない。
	百貨店（営業企画担当）	競争相手の様子	・競合他社の状況を見ると、残暑の影響もあるが、売上は前年同月比で2けた減少している。10月以降に回復傾向になると予測されるが、9月の売上減をばん回すまでは見込めない。

スーパー（経営者）	お客様の様子	・各家庭の収入が増えないため、消費は低迷している。スーパー、コンビニ等でも、新商品は出るがヒット商品は出ていない。新商品の寿命がどんどん短くなり、以前あった商品がもうないと嘆いている老人が増えている。一方、家電量販店では、菓子、食品、雑貨など今まで置かれていなかった商品が並べられている。本来の商品が売れないため、利益は少ないが回転の良い商品をどんどん並べている。全体的に売上は伸びておらず、競争は一段と激しく、利益も減少している。景気はまだまだ良くなっておらず、個人も企業も苦勞している。
スーパー（店長）	来客数の動き	・近隣の大型スーパーが改装した影響により、来客数は数%減少している。大手スーパーが多く品目で値下げしてきており、競争は更に厳しくなっている。
スーパー（営業担当）	単価の動き	・来客数は前年並みで推移しているが、客単価が悪く、売上は前年を下回っている。
スーパー（販売担当）	来客数の動き	・来客数が少ないため、日替わり品等の安い商品でも、売れ残りが多々ある。
コンビニ（企画担当）	来客数の動き	・長期的に見て、地元の自動車関連産業は海外移転や国内販売台数の減少によって徐々に縮小するものと思われる。これに加えて、中国、韓国との領土問題で雰囲気も悪い。国内でも復興や原発の問題、沖縄における日米問題などがあり、客との会話では、先行きに対する閉そく感が始まっている。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・客の購入単価は、他のエリアと比較して悪くなっている。買上点数も減少している。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の前年同月割れは、回復しないままである。そうしたなかで、他業種や同業他社との競争が厳しくなってきた。
衣料品専門店（販売企画担当）	お客様の様子	・発注量が激減している取引先が多数あるなかで、介護などの伸びる分野の取引先は、順調に伸びている。全体的に見ると、やや悪くなっている。
家電量販店（店員）	来客数の動き	・月後半に尖閣問題が起きてから、中国への出荷の減少がある一方で、中国人の店でも閑古鳥が鳴いている状態であり、日中双方に影響が出ている。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・車の買換え時期が長くなってきている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー補助金の終了に向けての駆け込み重要があまりないうちに、補助金が終了してしまい、販売台数も目標を大幅に下回っている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・9月21日でエコカー補助金は終了したが、客の動きは中旬頃から重くなっていた。客が購入希望する車は納期が長いと、駆け込み需要が少しはあるかと期待していたが、期待外れに終わっている。
一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・9月半ばで閉店する知人の店が、2軒ほどある。
一般レストラン（従業員）	お客様の様子	・祝日を含む2回の連休は、家族連れが多く忙しかった。しかし、連休以外の平日はさっぱりである。
観光型ホテル（販売担当）	来客数の動き	・日中、日韓の領土問題が起こって以降、今月だけでも1ホテルで宿泊客数500名以上のキャンセルがあった。大半は訪日外国人旅行客の予約であるが、キャンセル分が一般客で埋まり、単価が逆に上がっているホテルもある。他方で、空港に近いホテルでは出国が減り、こちらは他では補えないので、大きな打撃を受けている。
都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊が不調である。
都市型ホテル（営業担当）	お客様の様子	・中国との関係悪化に伴い、電気業界を中心に法人宴会の予約が落ちてきている。中国ゲストの訪日が、相次いでキャンセルになっている。
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・最近の領土問題により、中国、韓国からの来客数が急激に減っており、売上も減少している。
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・7、8月の受注の伸びと比べて、9月の受注は鈍化している。竹島問題、尖閣問題に関連する影響も始まっており、韓国や中国方面への渡航が減少している。
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・シニア層のみ元気であるが、若者の動きが悪過ぎる。高齢者中心の政治による停滞が、日本経済に影響を及ぼし、若者の活力を削ぐ傾向にある。

		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・尖閣問題によって、中国本土及び中国と関連する香港、マカオ、台湾の一部への団体旅行の計画の半分以上が、キャンセルまたは延期になっている。また、中国出張のキャンセルにより、航空券等の申込も激減している。これは年内は続きそうであり、取扱件数の減少は確実である。
		通信会社（サービス担当）	お客様の様子	・電話での問い合わせは相変わらず多いが、注文内容は回線の移転ばかりであり、新規サービスへの申込は減少している。
		パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きは良くなく、販売単価も低下している。
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・今月も暑かったにもかかわらず、客が髪を切りに来る周期は長くなっている。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客はお金を使わない。
		その他サービス【介護サービス】（職員）	販売量の動き	・残暑は厳しかったが、入浴用品等の夏商品の販売量は伸びていない。
		設計事務所（職員）	単価の動き	・客の総建築費の予算は、1千万単位で減っている。
悪くなっている		商店街（代表者）	販売量の動き	・9月に入り、全く売れなくなっている。様々な要因があると思われるが、かつてないほどのひどさである。この状態が続くと、廃業せざるを得ない。
		スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・8～9月は食品小売業にとって追い風になるような残暑であったにもかかわらず、売上は前年同月を大きく下回っており、厳しさは増している。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数が明らかに減っている。前年のたばこ特需の反動もあるが、たばこの前年同月比が非常に悪い。それに伴い、一般商品の前年同月比もかなり悪い。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー補助金がなくなったため、売上は一気に落ち込んでいる。
		その他専門店【貴金属】（店長）	お客様の様子	・来客数、単価共に良くなっていない。ローンによる無理な買物は減少しており、客単価は下がりっぱなしで、苦戦している。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・景気が悪いので、客に元気がない。暑さも影響し、財布のひもは固い。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・中国、韓国との外交問題がかなりヒートアップしており、安心して渡航できる状況にはないとのマスコミ報道が影響している。現地では沈静化していると言われているが、渡航を勧めることもあまりできないので、今後を見守るしかない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・夜の繁華街の飲食店に出掛ける人が、非常に少なくなっている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・異常な暑さの影響により、秋物衣料の購入意欲が欠けている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・50年以上営業しているが、客も高齢化している。客との会話によると、年金や子供のボーナスが少なくなっているそうであり、景気は悪くなっていると感じる。
		理容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず景気の悪い話は聞かれない。また、客は安い店へとどんどん流れる。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・広告しても客の反応は少なく、売行きは悪い。
企業動向関連 (東海)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	建設業（経営者）	それ以外	・不動産開発業では、分譲マンション、戸建共に、堅調な売行きである。
		その他サービス業【ソフト開発】（社員）	受注量や販売量の動き	・大手自動車メーカー関連の開発受注が好調である。他産業でも、IT投資が継続している。
	変わらない	出版・印刷・同関連産業（経営者）	取引先の様子	・対中問題が不透明である。地域の工場の稼働が減れば、消費に影響すると懸念される。
		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に、ほぼ横ばいである。ただし、国内のものづくり産業では設備投資等へのマインドが全く悪く、落ち込んでいるような感覚もある。
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注状況は中位で安定しており、横ばいである。	

輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・取引先の生産計画は、横ばいである。
建設業（営業担当）	取引先の様子	・同業者の話では、予定されている入札案件等の金額が下がっているとのことである。
輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・軽油価格が再び上昇に転じ、利益面では厳しいが、物量や運賃に変化はない。
輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・中部地区の航空貨物の動きは変化していない。
通信会社（法人営業担当）	取引先の様子	・投資を控えて支出を極力抑えたいという中小企業が多い。
金融業（従業員）	取引先の様子	・自動車産業を中心にどんどん中国進出していくため、今後、国内の仕事は減る可能性がある。しかし、現在の仕事量はまだまだ変わっていない。
金融業（企画担当）	取引先の様子	・世界的な金融緩和のなかでも、米国の景気回復が緩慢であること、欧州問題の動向が不透明であること、中国を中心とした新興国の景気後退が懸念されること、円高が定着していることなどにより、個人や法人の投資意欲はまだまだ低い。
不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・契約にまで至る案件が、ほとんどない。
不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・今のところ、最悪の状態で安定している。
不動産業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・マンションの初月成約率は、好調の水準とされる70%を超えている。しかし、供給量は減少傾向にあり、良くなっているとは感じない。
広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・新しい企画を提案しても、なかなか具体的な形になってこない。
新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・折込広告の減少が続いている。以前はパチンコ店のチラシは全体の2割ほどであったのが、半分になるほど減っている。
行政書士 公認会計士	受注量や販売量 それ以外	・顧問先の運送業では、貨物の動きは普通である。 ・顧問先の業績は低調であり、従業員の給与は減少し、賞与の支給停止等も見られる。また、信用金庫の貸出先も業績不振である。
経営コンサルタント	取引先の様子	・地価はまだまだ下落傾向が続いており、住宅の動きも良いとはなかなか言えない状況にある。
会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・新たな取引先を開拓して新規の受注を獲得したり、既存の取引先からの受注を増やしたりしている企業もあるが、大方の顧問先では売上はほとんど変わっていない。
やや悪くなっている	食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き ・夏の気温が平年以上であり、冷たい食品関係の動きは比較的順調である。しかし、数年続く記録的猛暑に慣れ、在庫を抱えての商戦であったため、コスト上昇は必至である。
	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	受注量や販売量の動き ・尖閣問題の影響で、中国での自動車販売量が減少しているため、段ボール製品の販売量も減少している。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き ・大手の取引先の受注量は全般的に減少しており、景気はやや悪くなっている。
	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き ・長引く中国情勢によって、悪影響が出ている。
	化学工業（企画担当）	受注量や販売量の動き ・上半期の受注量及び今後の予算を勘案すると、動きは鈍化する傾向にある。
	窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き ・8月に急に受注量が落ち込んで心配したが、今月は少し持ち直している。リチウムイオン電池の製造時に使用する消耗品の注文がかなり入っているが、製造技術の確立が遅れているため、売上は思うようには伸びていない。
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き ・9月に入り、受注量は減少している。
	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き ・米国では会計年度末を迎えているため、北米ユーザーによる設備投資の動きが鈍く、引き合い件数、受注件数共に月平均と比較して10%ほど落ち込んでいいる。アジア市場や欧州市場は変化しておらず、米国の落ち込みをカバーできていない。
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き ・欧州向けの売上が思うように伸びていない。企業の経費節減が響いている。

	電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・円高が少しずつ進んでいる影響により、少しずつ悪化している。	
	電気機械器具製造業	受注価格や販売価格の動き	・取引先の設備投資意欲は少し上昇気運にあるが、受注獲得競争が熾烈であり、たとえ受注したとしても金額は非常に厳しい。赤字受注は覚悟の上としても、どこまで我慢するか。限界に達しつつある。	
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・尖閣諸島をめぐる中国との関係悪化により、中国との物流が悪化している。また、エコカー補助金の終了や家電業界での売上不振等により、関連する物流が大きく落ち込んでいる。前年の同時期よりも低調である。	
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・売上の3か月前比は、前年同月がプラス5.7%、今月はマイナス12.0%と、17.7%ポイントも悪くなっている。当社の主要荷主で元気が良いのは1社だけであり、それ以外の企業からは明るい話はほとんど聞かれない。	
	輸送業（エリア担当）	それ以外	・売上は伸びているが、経費がそれ以上に伸びている。利益を上げるために、経費節減策を厳しく行っている。	
	金融業（法人営業担当）	取引先の様子	・自動車部品メーカーの生産量が、2割ほど減少している。エコカー補助金の終了に伴う国内販売の反動減を見越して、生産調整に入っている様子である。	
	企業広告制作業（経営者）	それ以外	・尖閣諸島を巡る領土問題により、日中関係は悪化している。回復の目処が立たないため、経済活動への影響は今後更に顕在化する。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・食品スーパー、衣料品、小売店などでデフレが進み、安売りが続いている。食品関係では在庫を残せないため、大変である。また、復興関連の建設業者が冬場の復興支援を避けて地元に戻ってくるが、戻ってからの受注に不安を抱えている。	
	その他サービス業〔広告印刷〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・夏枯れの状態から戻っていない。動きが遅過ぎる。	
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・中国問題の悪化によって、日本にとって厳しくなり、円高に向かっている。この流れはしばらく続く。知恵を振り絞り、不況に立ち向かう必要がある。	
	悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先であるバーラー関係の設備投資が、引き続き少ない。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・中国リスクによって、設備投資は減少傾向にある。部品系も減産予定であり、明るい情報はない。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・欧州の景気が不透明であり、その影響により中国への輸出が伸びていない。中国の景気が悪く、中国向けが伸びていない。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・日々の荷物取扱量は、3か月前までは前年を上回っていた。9月に入って2週目の後半から、前年の荷物取扱量と同じか下回る日が出てきている。
雇用関連	良くなっている	-	-	
(東海)	やや良くなっている	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・取引先の研究開発需要は、相変わらずおう盛である。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・法人利用が増加している。婚礼の利用も多くなっている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・スキルの高い人材は、引き続き正社員採用のニーズが高い。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・従業員数300名未満の企業の有効求人倍率は3.27倍であり、求人意欲はおう盛である。東海地域における新卒、第二新卒の採用意欲もおう盛である。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・求人数は3か月前比102%となっているが、直近3か月間の受注件数はほぼ同数で推移している。微増ではあるが、回復傾向にある。
		職業安定所（次長）	求人数の動き	・新規求人数は引き続き増加傾向にあり、企業の雇用意欲は比較的順調に思える。ただし、非正規雇用の求人が多く、力強さには欠けている。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・求人の動きは良くなっている。ただし、成約できない状態にある。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・エコカー補助金が終了し、自動車の生産工程の仕事もほぼ横ばいとなっている。

	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求人検索機を使う求職者が、徐々に減ってきている。景気は若干上向いていると思うが、雇用環境は変わっていない。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、頭打ちになっている。
	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・新規求人数は引き続き増加傾向にあるが、雇用形態別に比率をみると、正社員求人は45%と半分を割り込んでいる。派遣求人の比率は、10%を切っていたのが18%へと上昇している。
	民間職業紹介機関（支社長）	採用者数の動き	・例年7～9月期は採用数の増加する時期であるが、企業の採用意欲を含めて、高まっている状況にはない。
やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	それ以外	・消費税増税に向けて、金融業界を始めとする各企業では、人件費を圧縮する方向に動いている。
	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・欧州の信用不安やエコカー補助金の終了の影響で、悪化傾向がつかがえる。
	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・求人数の動きが良くない。また、株価も9千円を割っている状況が続いている。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数は、前月比で約10%減少している。特に月末にかけて、減少幅が大きくなっている。自動車部品等の製造事業所からの求人が減少するとともに、派遣事業所からの求人も減少している。また、エコカー補助金の終了に伴う反動減等を懸念して、雇用調整助成金等を検討する事業所も出てきている。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・例年ならば新規の求職者数は秋口になると減ってくるが、今月は減少には転じていない。求人も、基幹産業である製造業の求人が伸びていない。医療・介護関係が求人をつらしている状況にあり、あまり良くない。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・求人数は増加しているが、その内容は、運輸、郵便業と卸売・小売業のパートを中心とした非正規雇用が主である。また、製造業の求人数の前年同月比がマイナスに転じていることから、今後はその影響が運輸、郵便業と卸売・小売業にも出てくる。
悪くなっている	-	-	-